

## 日本消化管 CT 技術学会 学会誌投稿規定

### 1. 投稿資格

本誌への投稿は筆頭著者が本学会会員であるか、投稿料を納められるものに限る。

### 2. 投稿原稿の採否

投稿論文に対しては複数の委員による査読を行い、学術委員会において最終的に採否を決定する。

### 3. 論文の種類

原稿は、消化管 CT に関するもので、下記の種類に分類する。

- a) 原著：独創性に富み、目的、結論等の明確な他学会誌を含めて未投稿の研究論文。
- b) 速報：独創的な研究、工夫、仮説などを内容とし早急に発表する必要のあるもの。
- c) 技術：新しい装置、製品、試薬などの使用経験、既成の装置等における工夫、改良など臨床に役立つ情報に関する報告。オリジナリティは問わない。
- d) 症例報告：消化管 CT に関連した興味ある症例の紹介で、他誌に報告されていないもの。
- e) 特集：決められた主題に基づき執筆される学術委員会からの依頼論文。
- f) 総説：特定の研究領域に関して特定の視野に基づいて体系的にまとめたもの。
- g) その他：上記に分類できないもので、学術委員会が必要と認めたもの。

### 4. 記載の形式

- a) 原稿は和文または英文とし、A4 版、横書きとする。本文は、和文、英文とも 1 段組とする。原稿の記述は、希望する種類、標題、著者氏名、所属、和文要旨（400 字以内）、和文キーワード（5 語以内）、英文標題、ローマ字著者氏名、英文所属、英文要旨（200 語以内）、英文キーワード（英文 5 語以内）、本文、文献、図の説明とする。ただし、症例、資料、報告・意見については、要旨・キーワードは省略できる。
- b) 投稿原稿の長さは、和文要旨・英文要旨を除き、原著原稿は仕上がり 5 頁から 8 頁以内、速報は 4 頁以内、その他は 8 頁以内とする。仕上がり 1 頁は 1600 字に相当。図・写真は原稿がカラーであれば、特に指示がない場合カラーとする。
- c) 図・写真は A4 版を越えないようにし、図表の枚数は、必要以上に多くせず、本文分量に適度に合ったものとする。図表の説明は英文（Fig.1…、Table 1…）とする。
- d) 引用文献は本文に引用された順に[1],[2],[3]…と番号をつけ、末尾の文献の項に一括して記載する。原著は 30 以内、速報および症例報告は 15 以内とするが、総説、その他に関しては著者の判断に任せる。
- e) 引用文献の記載方法。

雑誌の場合、著者名（3 名以内は全員、それ以上の場合 4 名以降は他または et al）：論文名、

雑誌名（欧文はイタリック） 発行年（西暦）；巻数：頁一頁。

[例] 飯沼 武、館野之男、松本 徹、他：肺癌検診用 CT (LSCT) の基本構想とその事前評価. 日医放会誌 1992;52:182-190

[例] Kaneko M, Eguchi K, Ohmatsu H, et al: Peripheral lung cancer; screening and detection with low-dose spiral CT versus radiography. Radiology 1996; 201:798-801

## 5. 投稿方法

a) 初回投稿は、本学会ホームページ投稿原稿見本に従って作成した原稿と投稿原稿表紙、および電子ファイルを本会事務局へ E-mail で送付する。データが 10M 以上と大きい場合には、USB メモリーまたは CD に入れて下記住所に送付する。

b) 査読後に掲載許可の出た論文も、同様に送付する。

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-15-5 共同ビル 2 階

イーメディカル東京遠隔画像診断センター 内 日本消化管 CT 学会事務局

E-mail : ctc-tec-office@googlegroups.com

## 6. 校 正

査読終了後掲載の承諾を得たのち、レイアウトした校正を著者にメールで送り、校正後、返却する。著者校正は原則としてこの 1 回とする。

## 7. 著作権

本誌掲載の論文の著作権は日本消化管 CT 技術学会に帰属する。

## 9. その他

本学会会員の職種は医療関係者、工学研究者、医療機器メーカー研究者等と多岐にわたるので、専門用語や略語はできるだけ避け、使用する場合には必要に応じて簡単な説明を加えること。